

\\ 明るい未来のためにみんなでピースをはめよう！ \\



『サステナビリティアクションブック』の感想をお待ちしています！

アンケートはこちらから！



名称	株式会社セブン-イレブン・ジャパン
本社所在地	〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8
代表取締役社長	永松 文彦
設立	1973年11月20日
資本金	172億円
従業員数	8,930人(2022年2月末時点)
チェーン全店売上(国内)	4兆9,527億82百万円(2022年2月期)

発行年月：2022年11月 発行者：株式会社セブン-イレブン・ジャパン

# SUSTAINABILITY ACTION BOOK

## サステナビリティアクションブック 2022-2023



冊子をみんなにシェアお願いします！



明日にいいこと。つなげる、つづける。

## ステークホルダーの皆様とともに サステナブルな社会の実現を目指します

私たちセブン・イレブン・ジャパンは、おかげさまで2023年に創業50周年を迎えます。お客様にとって「近くて便利な存在」でありたいと願い、価値ある商品やサービスの創出、効率的な情報・物流システムの確立など、幅広い分野でのイノベーションを創造してまいりました。その結果、ステークホルダーの皆様との信頼関係を築きながら、現在では、全国に約2万1,000店を展開し、毎日約2,000万人のお客様にご利用いただいています。

一方で、世界では気候変動にともなう自然災害の増加、海洋プラスチックごみ問題などの地球規模での環境問題が、日本においては超高齢社会やお買物に不便を抱える方々の増加など、私たちの生活に密接する社会問題が顕在化してきています。セブン・イレブン・ジャパンとしては、皆様の暮らしに寄り添いながら、こうした課題一つひとつに誠実に向き合う責任があると考えています。

そこでセブン&アイグループでは、SDGsの目標達成に向けて、また、ステークホルダーの皆様のお期待にお応えするために、事業を通して解決すべき7つの重点課題を策定しました。商品やサービス、

店舗など、本業を通じてこれらの課題を解決することで、サステナブルな社会と企業の持続的成長を目指してまいります。

また、生産者の皆様と連携し、地産地消の商品開発や地域活性化につながる、ローカルSDGsの取り組みにも力を入れています。

サステナブルな社会は私たちだけの力では成し遂げられません。お客様、加盟店様、お取引先様、地域社会といったあらゆるステークホルダーの皆様と一緒に推進していくことが不可欠であると考えます。豊かな地球と社会を守り、未来の世代につないでいくため、セブン・イレブン・ジャパンは全力で取り組んでまいります。

株式会社セブン・イレブン・ジャパン  
代表取締役社長

永松文彦



## 教えて永松さん!

サステナブルな社会をつくるために、セブン・イレブンが大切にしていることや目指す姿について、永松社長がお答えします。



私がお答えします!



### Q1 サステナブルな企業であるために大切にしていることはなんですか?

サステナビリティ経営では「競争」ではなく「共創」が重要と考えており、あらゆるステークホルダーの皆様との「対話」を重視しています。たとえば、出張授業や職場体験などを積極的に行い、未来を担う若い世代との対話を通じて、私たち大人では思いつかないような未来に向けてのアイデアを、経営に活かしていきたいと考えています。こうした活動をより一層進め、イノベーションのきっかけにしていきたいと思っています。

皆様との対話を大切にしています。



未来の地球のために環境負荷低減を推進!

### Q2 深刻化する「環境問題」についてはどんな取り組みをしていますか?

グループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』の中で「CO<sub>2</sub>排出量削減」「プラスチック対策」「食品ロス・食品リサイクル対策」「持続可能な調達」、それぞれ具体的な4つの目標を掲げています。たとえば、「プラスチック対策」ではペットボトル回収機で回収したペットボトルをリサイクルして再び製品として販売する「ボトルtoボトル」の取り組み、「食品ロス・食品リサイクル対策」では商品の長鮮度化や食べきりサイズ商品の充実化など、環境負荷低減に向けた様々な取り組みを進めています。

『GREEN CHALLENGE 2050』の詳細はP21へ➡



### Q3 未来に向けての新しい取り組みを教えてください。

商品・サービスを通じて社会課題の解決につなげていくことが私たちの使命だと考えています。たとえば、「お買物に不便を抱える方々の増加」に対しては、お買物が不便な地域のお客様に商品をお届けする「セブンあんしんお届け便」や、WEB注文により商品を最短30分でお届けする「7NOW」などの新しいサービスを提供しており、地域の活性化やサステナブルな社会づくりに貢献できると考えています。私たちは、「日常の中でお店を便利にご利用いただくことで、自然とサステナブルな社会につながる」ようなお店づくりを目指しています。

お客様の利便性向上と持続可能な社会づくりの両立を目指して。



身近なことから一歩ずつ。凡事徹底!

### Q4 私たち一人ひとりが今日からできる「サステナビリティアクション」はなんですか?

食事はなるべく残さない、電気はこまめに消す、買物の際はエコバッグを使う、箸やスプーン・フォークは必要な時だけもらうなど、まずは身近なことから始めてみてはいかがでしょうか。私も会社では極力エレベーターには乗らずに階段を使い、省エネと健康経営の率先垂範を心がけています。一人ひとりが今できることから、一緒にがんばっていきましょう。



# サステナブルな社会の実現に向け 7つの重点課題を策定し 解決に向けて取り組んでいます。

2022年春、セブン&アイグループは企業として取り組むべき課題を見直し、「7つの重点課題」を策定しました。お客様や従業員さん、お取引先などの期待に応えるグループであるために、7つの重点課題を軸に、ステークホルダーの方々との対話を通じて多様化する社会課題の解決に向け、グループ全体で取り組んでいます。

## セブン&アイグループの 7つの重点課題

社会課題解決に向けて、グループ全体もしくは会社ごとに取り組むを進めています。

### 7つの重点課題のポイント

ステークホルダーからの様々な意見を反映して策定

誰もがアクションしやすく自分ごと化できる言葉を使用

世界的なサステナビリティマネジメントに対応し、適切な情報開示を推進

詳細はWEBから /



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

国連総会で採択された「持続可能な開発目標」のこと。世界で取り組むべき共通課題です。



<b>重点課題 1</b>	お客様とのあらゆる接点を通じて <b>地域・コミュニティとともに                  住みやすい社会を実現する</b>		〈セブン・イレブンでやっていること〉 高齢化や人口減少により、お買物に不便を抱える世帯が増加しています。そこで移動販売や商品配達など、お客様に寄り添う取り組みを通して住みやすい社会づくりを推進します。	
<b>重点課題 2</b>	安全・安心で健康に配慮した <b>商品・サービスを提供する</b>		信頼性の高い原材料の使用や添加物の低減など、お客様の健康に配慮した商品を開発するとともに、多くの方が関心を寄せる栄養成分表示など、安全・安心の提供に努めています。	
<b>重点課題 3</b>	地球環境に配慮し、 <b>脱炭素・循環経済・自然と                  共生する社会を実現する</b>		お店の運営には多くの環境負荷がともないます。そこでCO <sub>2</sub> 排出量の削減やプラスチック対策、食品ロス・食品リサイクル対策など様々な側面から負荷を低減、循環経済社会を推進しています。	
<b>重点課題 4</b>	多様な人々が活躍できる <b>社会を実現する</b>		様々な価値観の違いを理解し、シニア・外国籍や障がいのある方などの就業や子育てと仕事の両立支援など、多様な人々が活躍できる社会の実現を目指しています。	
<b>重点課題 5</b>	グループ事業を担う人々の <b>働きがい・働きやすさを向上する</b>		多様な働き方を支援し、働きがいとともに働きやすい職場を目指しています。加盟店においても働きやすい環境整備を進めており、先進的な技術の実証実験にも取り組んでいます。	
<b>重点課題 6</b>	お客様との対話と協働を通じて <b>エシカルな社会を実現する</b>		あらゆる社会課題の解決に向けた商品やサービスの提供に取り組んでいます。またお客様や地域社会との対話や協働を通じ、エシカル※な社会づくりを進めています。※エシカルとは「道徳的」「倫理的」という意味。	
<b>重点課題 7</b>	パートナーシップを通じて <b>持続可能な社会を実現する</b>		原材料の調達からお客様のもとに商品が届くまでのすべてのプロセスにおいて、様々なステークホルダーとともに人権・環境に配慮し、持続可能な社会の実現を目指します。	



# セブン・イレブンのサステナブルな取り組みを お客様・地域社会、お店、お取引先別にご紹介します。

私たちセブン・イレブンが持続可能な社会を推進するためには、多くの方々のご協力が必要です。そこで「お客様・地域社会」「お店」「お取引先」といったステークホルダーごとに協働して取り組んでいることや、未来世代に豊かな地球と社会を引き継ぐため、皆様とともに取り組んでいることをご紹介します。

## COLUMN

- ▶ お客様・地域・従業員さんを守るため「災害に備える」 ..... 19
- ▶ グループで推進する環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』 ..... 21
- ▶ 環境をテーマに社会貢献「セブン・イレブン記念財団」 ..... 24

## お客様・地域社会 とともに



P7~

社会課題の解決には地域社会との連携が重要です。地域に密着し、住みやすい街づくりに貢献するための取り組みをご紹介します。

主な取り組み

- ▶ 7NOW ..... 7
- ▶ セブンあんしんお届け便 ..... 8
- ▶ 地域包括連携協定 ..... 9
- ▶ フードドライブ ..... 10



地域の皆様と一緒に  
住みやすい社会へ！

## お店とともに



P13~

従業員さんがイキイキと働けるような職場環境づくりを進めています。働きやすい職場が、お客様サービスの向上につながると考えています。

主な取り組み

- ▶ シフト作成支援システム ..... 13
- ▶ 省人化の取り組み ..... 14
- ▶ 外国籍の方の就労を支援 ..... 15
- ▶ シニアや障がいのある方の就労支援 ..... 15



誰もが活躍できる  
お店づくりを推進

## お取引先とともに



P17~

様々な分野のお取引先と公正なパートナーシップのもと、お客様に喜んでいただける「安全・安心」な商品の開発を行っています。

主な取り組み

- ▶ 野菜工場 ..... 17
- ▶ コールドチェーンの構築 ..... 18
- ▶ GAP認証野菜を使った商品開発 ..... 18
- ▶ 公正な取引の徹底 ..... 18



お取引先との  
パートナーシップも重要

## 皆様とともに 地球のために

P22~

環境問題を解決し、持続可能な社会を実現するため皆様とともに取り組んでいることをご紹介します。



主な取り組み

- ▶ 省エネルギーの活躍と省エネ対策 ..... 22
- ▶ 省エネ設備の導入と実証実験 ..... 24
- ▶ ペットボトルの回収・リサイクル ..... 25
- ▶ てまえどり ..... 27
- ▶ エシカルプロジェクト ..... 27



皆様とともに  
エシカルな社会へ

# お客様・地域社会とともに

地域とお客様のために店は進化し、社会を支えるインフラへ。  
お客様のお困りごとを解消するため取り組んでいます。

## 取り組み 1

### 7NOW

お出かけできないお客様のために  
お店の商品を最短30分でお届け！



一部エリアでテスト中の「7NOW」。ご高齢や体調不良で外出がままならない方や、忙しくてお買い物に行く時間がない方などのために、スマートフォンから注文いただいた商品を、最短30分でお届けするサービスです。配送エリア内であれば、ご自宅や職場など希望の場所まで配達します。お店で取り扱うほとんどの商品が購入でき、お支払いは現金かクレジットカードで。今後、全国で展開予定です。

#### 重点課題① お買物の支援

■ 7NOW配達地域  
北海道、東京都、広島県の一部地域

■ 配達料金  
1注文につき110～550円（税込）

■ お届け条件  
ご注文合計税抜1,000円以上～  
※一部地域は1,000円未満（税抜）でも可  
ただし別途少額注文配達料220円（税込）

■ 配達時間  
10時～23時 ※エリア、お店によって異なります  
※すべて2022年9月時点

#### メリット

- 外出が難しい方や子育て世帯に商品をお届け
- お客様一人ひとりのニーズにきめ細かく対応
- ご注文をいただいた商品を最短30分でお客様のもとへ配達



お店により異なりますが、基本的にはお店で扱っている商品を取り扱い。注文サイトに表示されているものは配達可能です。

**お客様の声**  
ケガで階段の上り下りが不自由なので、重い飲料水などをまとめて配達してもらいありがとうございました。

在宅勤務中にスマホの充電ケーブルが壊れ、交換ケーブルを注文。出かけられなかったのが助かりました！

#### 「7NOW」と「セブンあんしんお届け便」の違いって？

「7NOW」は、お出かけが難しい時や、急に必要になったものをスマホからご注文。ご希望の場所まで配達します。「セブンあんしんお届け便」は移動販売。様々な商品を積んだトラックが、お買物に不便な地域にうかがいます。

## 密着取材 7NOW

お客様のニーズに対応するため品揃えを拡充し  
迅速にお届けできるよう全員で取り組み中

《 広島落合1丁目店での7NOWの取り組み！ 》

7NOWで商品がお客様のもとへ届くまで！

- ① お客様がスマホからご注文
- ② 注文をもとに商品をピックアップ
- ③ 商品を配達業者の方にお渡し



[https://www.otodoke7.jp/h\\_customer/](https://www.otodoke7.jp/h_customer/)

お店にある商品は基本的に注文サイトに掲載。「ご希望に応えられるよう在庫管理も徹底しています」。



お店で工夫し、専用のかごを用意して注文商品を集集。「なるべくスピーディーかつ正確に商品を用意します」。



崩れないように商品を袋詰めし、配達業者の方にお渡し。「スープなどこぼれやすい商品は、ビニール袋に包んでお渡しします」。

メッセージ From セブン - イレブン /

お求めの商品を迅速にお届けします！

＜かわいいインタビューはこちらから！＞



7NOWでは迅速な対応を心がけ、チラシ配布やポスター掲示など、気軽にご利用いただくための工夫をしています。またお客様ニーズに対応するため品揃えの管理も徹底。配達を業者

の方に頼むこともありますが、当店では実験車両・TOYOTA C+podを使いながら、対応できる時は従業員さんがお届けしています。

C+podでお届け！



広島落合1丁目店  
オーナー 松下 仁さん

## 取り組み 2

### セブンあんしんお届け便

買物にご不便な地域の方のもとへ  
お店が移動する販売サービス



《 佐世保上相浦店の離島・高島での取り組み！ 》

外出が難しい高齢者や、お買物が不便な地域にお住まいの方のため、お客様のご要望を汲んで多彩な商品をお届け。生活必需品をまとめ買いされる方も多く、地域に欠かせないサービスとなっています。

#### 重点課題① お買物の支援

■ あんしんお届け便配達地域  
1道2府37県110台稼働中 ※2022年5月末時点

■ 販売商品  
おにぎりや弁当等のデイリー商品、飲料やカップ麺などの加工食品、アイスクリーム・冷凍食品など合計 約300アイテム

2018年より「セブンあんしんお届け便」を離島の高島で展開しています。週に1回島を訪れると、お客様が次々と来てくれてありがたいし、とてもやりがいを感じています。



佐世保上相浦店  
マネジャー 間宮 ゆかりさん



取り組み  
3

## 地域包括連携協定を全国の自治体と締結

地域に根ざした企業として  
安全・安心な暮らしを支える



この協定で生まれた地域の取り組みや限定商品はP11へ →



全国の自治体\*と「地域包括連携協定」を締結し、地産地消、子育てや「見守り協定」などの高齢者支援、健康増進、環境保全など幅広い分野で地域の活性化を推進しています。また、「物資支援協定」「帰宅困難者支援協定」など災害時の迅速な支援も行っています。今後も地域に根ざしたお店であるため、皆様との連携を深めていきます。

※一部エリアを除く

重点課題① 各地の取り組み

2022年6月末時点の  
地域包括連携協定数

**226**自治体  
(45道府県181市区町村)

取り組み  
4

## セーフティステーション活動

お店が見守りの拠点となり  
安全・安心な街づくりに貢献

警察と連携し、お店を「まちのインフラ」「災害時のライフライン」の拠点として活用する取り組み「セーフティステーション活動」。女性や子ども、高齢者や急病の方の保護などに加え、振り込め詐欺の抑止・通報なども行い、安全な街づくりに貢献します。

重点課題① 地域の見守り支援



2021年の対応状況

女性の駆け込み  
2,716店 4,213回以上  
子どもの駆け込み  
1,687店 2,692回以上  
高齢者保護  
5,736店 11,371回以上  
特殊詐欺  
(振り込め詐欺等)の抑止  
6,075店

取り組み  
5

## 自治体・社会福祉協議会との連携

日々の生活にお困りの方に  
セブン・イレブンができることを

セブン・イレブン・ジャパンでは、自治体\*や社会福祉協議会と連携し、暮らしにお困りの方々に商品の寄贈を行っています。生活に不可欠な食品や日用品にくわえて、文房具やお菓子など心を少し豊かにする商品をお贈りすることも。今後も寄贈を通して、お客様の暮らしに寄り添っていきます。

※一部エリアを除く

重点課題① 自治体・社会福祉協議会との連携



取り組み  
6

## 社員のフードドライブも全国で展開

全国27事業所で集めた品物を  
39自治体に寄贈し地域に貢献

社員が家庭にある食べきれない食品などを持ち寄り、各地域の社会福祉協議会に寄贈しています。2022年は本社および全国27の事業所で実施し、たくさんの食品が集まりました。今後もセブン・イレブンとして継続して取り組みを進めます。

重点課題① 自治体・社会福祉協議会との連携



取り組み  
7

## お客様の命を守るAEDを設置

お客様の命を守るために  
自治体と連携して設置を推進

突然の心停止で倒れた方を救える拠点であるために、29都道府県125市区町村\*と連携し、セブン・イレブン1,501店の店内にAED（自動体外式除細動器）の設置場所を提供しています。救命率の向上に寄与するため、今後も設置するお店を増やしていく予定です。

※2022年8月末時点

重点課題① 地域の見守り支援



2022年8月末時点の  
AED設置状況  
**1,501**店  
(29都道府県125市区町村)



取り組み  
8

## 地域それぞれの取り組み

地産地消の商品や寄付金付きnanacoなど  
地域に根ざした様々な取り組み

地域包括連携協定の締結により、各地域の特性や課題に合わせた取り組みを行っています。地域に根ざしたお店として、地域の活性化や安全な街づくりにつながる活動を行っています。

重点課題① 各地の取り組み

鹿児島県

数量限定で寄付金付きnanacoを販売し、その一部を寄付・環境保全へ活用

環境保全

「鹿児島県限定寄付金付きnanaco」を販売し、その一部を鹿児島県に寄付。世界自然遺産である奄美大島・徳之島の環境保全に役立っています。



沖縄県

全社員による清掃活動で環境配慮への意識を向上  
循環型社会実現の一歩に

地域清掃活動

セブン-イレブン・沖縄では、毎月第1金曜日に全社員でお店周辺の清掃活動を実施中。一人ひとりが環境への意識を高め、循環型社会の実現を目指します。



熊本県

本の寄付を通じた「ホンデリング」で犯罪被害者を支援

犯罪被害者支援

寄付された本やDVDなどを売却し、その収益が犯罪被害者の支援となる「ホンデリング」。この活動に賛同し、セブン-イレブン・ジャパン熊本地区事務所が集めた古書を寄贈しました。



大阪府

支援学校を対象に新生活様式に合わせたリモート就労研修

多様な人材の活躍支援

2015年度より取り組む、府立支援学校等生徒向けの就労支援研修。2020年度以降はリモートでの研修を実施し、生徒たちの就労意欲醸成に貢献しています。



大阪市

商品寄贈や見守り連携職業体験などで地域の子どもの支援

地域活性化

「企業とこどもの居場所 共創フォーラム」に参加し、商品寄贈や大阪市との見守り連携、子ども向け職業体験プログラムなどの活動報告を行いました。

東京都

足立区限定販売！オリジナル2商品で食育推進&健康増進

地域活性化

足立区制90周年を記念して区内加盟店と管理栄養士さんのご意見をもとに、「こまつなサラダ」と人気の給食メニュー「えびクリームライス」を6月の食育月間に販売しました。



滋賀県

守山にて開催のトライアスロン大会で「サステナブル」を発信

プラスチック対策

守山にて開催のトライアスロン大会で「サステナブルプロジェクト」に参加。ペットボトル回収機を設置し、ご来場者に体験いただくなど、環境への取り組みを紹介しました。



取り組み  
9

## マルチコピー機サービス

ワクチン接種証明書の発行や保険加入もできる多機能コピー機で「近くて便利」を推進

2022年秋に全てのお店のマルチコピー機を刷新。コピーや写真プリントなどの基本的なサービスに加え、地域の行政サービスへの対応など多様な機能を備えています。また、本体は車椅子のお客様も使いやすい高さに変更しました。



重点課題① お客様の多様なご要望に応えるサービス

マルチコピー機で「できること」

- ・コピー
- ・各種プリントサービス
- ・FAX
- ・スキャン
- ・行政サービス
- ・保険加入
- ・各種チケット発券
- ・各種資格試験の受験申込
- など

行政サービス対応

951団体

※2022年9月15日時点 ※住民票の写し、印鑑登録証明書の発行

取り組み  
10

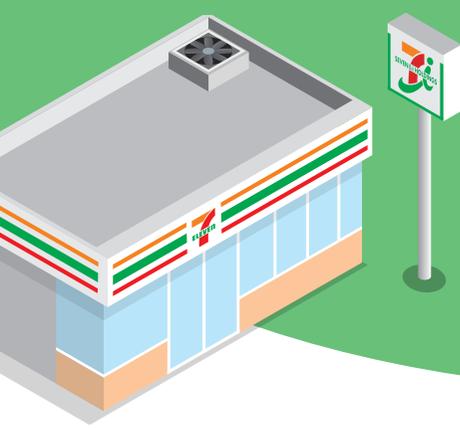
## 未来世代との交流

交流を通じてサステナブルな未来を共創

主に小・中学生を対象に、お店での仕事を学ぶ職場体験やセブン-イレブンの取り組みを授業形式で紹介する出張授業を行っています。これからも未来を担う世代とのコミュニケーションの場として、この活動を広げていきます。

重点課題④ キャリア教育・職場体験





# お店とともに

働きやすい職場環境づくりも、セブン-イレブンの重要な取り組みの一つ。お店の皆さんが安心して働けるよう、様々な施策を行っています。

## 取り組み 1

### シフト作成支援システム

シフトや作業割当を自動で作成し  
効率の良いお店の運営へ



名前や対応可能な勤務時間などの必要項目を入力するだけで、簡単にシフト表が作成できるシステムです。最新情報が常時確認でき、お店からの勤務要請や従業員さんからの申請にも対応。申請情報がシフト表に反映されるため、各種依頼が一括で行えるなど、シフト作成の作業が軽減されます。

重点課題⑤ 加盟店への支援制度

メリット

- 最新のシフト表をいつでも確認することが可能
- 端末を通じてシフト変更や勤務要請が可能
- システム導入により、作業量が削減

一部地域では、作業量から必要人員を自動算出できるシステムの実証実験を実施。お店の状況によりカスタマイズも可能で、作業割当表から必要人員をふまえたシフト表を自動作成します。今後はこの機能を全国に拡大予定です。

## 取り組み 2

### 非接触「デジPOS」実証実験中

画面が空中に表示される  
進化系の非接触セルフレジを導入

「デジPOS」はレジ画面を空中に表示し、タッチパネルと同様に操作できるシステム。完全非接触で従業員さんもお客様も安全・安心な進化系レジです。

重点課題⑥ 加盟店への支援制度



## 取り組み 3

### 省人化の取り組み

お会計セルフレジやカウンター周辺の  
設備・什器などを見直して効率化



働きやすい環境づくりのため、お店の設備や什器の改良を進めています。作業に要する時間や従業員さんの動線・移動距離などを考慮し、作業負担を軽減しながら業務の効率化を図っています。お会計セルフレジの導入に加え、清掃や品出しがしやすい什器に変更。今後も従業員さんが働きやすく、お客様にとってもお買物しやすいお店づくりを目指します。

重点課題⑤ 加盟店への支援制度

#### お会計セルフレジ

お客様が現金やnanacoなど決済方法を選択し、迅速にお支払いができるお会計セルフレジ。現金受け渡しなどの接触機会の削減にも効果的です。



（ 主な省人化設備について 作業時間を削減することで効率化を図り、よりお買物しやすいお店づくりを目指します。 ）



新型常温 Gondola  
棚スライドで商品補充が楽々。



新型オープンケース  
全棚スライド化で  
補充作業が迅速に。



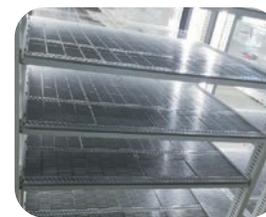
新型フライヤー  
IH方式に変更。清掃も簡単。



オイルスマッシャー  
清掃が水洗いのみで簡単に。



新型FFウォーマー  
棚がスライドし、  
商品補充が楽に。



新型ウォークイン冷蔵庫  
陳列量がアップし、  
より多くのストックが可能に。



食洗機  
手洗い作業を食洗機に変更し、  
所要時間の削減に成功。



スライドクリーンフィルター  
(冷凍ケース)  
フィルター清掃簡易化で  
作業効率アップ。

## 取り組み 4

### 外国籍の方の就労を支援

外国籍の方が安心して働くことができ  
地域社会に定着できるようサポート

お店では現在留学生を中心に、多数の外国籍の従業員さんが働いています。そうした中、多言語対応の求職者向けホームページの開設や仕事説明会の実施、在留手続きなどの支援を行い、外国籍の皆さんが地域に馴染み、安心して働ける環境づくりを進めています。



重点課題⑤ 多様な人材の活躍

メッセージ From セブン-イレブン /

#### 新人従業員さんの成長する姿が自分のやりがいに

ミャンマーの大学を卒業後に来日し、セブン-イレブンのお店で働いて8年が経過。その間に結婚、出産、育児を経験しました。オーナーさんの配慮のおかげで、仕事と子育てを両立できています。現在は店長として新人従業員さんの育成に奮闘中です。将来の夢はオーナーになること。お世話になっているオーナーさんのようにあたたかい経営者を目指しています。



港区三田1丁目店  
店長 メイ ジン チイツさん

## 取り組み 5

### シニアや障がいのある方の就労支援

#### 多様な人材の活躍を支援するためシニアや障がいのある方に対しても積極的にアプローチ

働きたいと思っているシニアの方や障がいのある方に向けて、就労支援を実施しています。一人ひとりの個性を活かし、よりお客様に愛されるお店を目指します。

重点課題⑥ 多様な人材の活躍



メッセージ From セブン-イレブン /

#### 一人ひとりのお客様に合わせたおもてなし

地域への恩返しがたくて、78歳からセブン-イレブンで働きはじめて14年が経過。「この方はどんな商品をおすすめしたら喜ぶだろう?」と一人ひとりのお客様と向き合いながら、楽しく接客しています。お客様の笑顔や人との交流がこの仕事の魅力です。



東広島西条中央4丁目店  
菅田美子さん

## 取り組み 6

### 加盟店とのコミュニケーション促進

オーナーさんと本部の連携を密にし  
対話を通して課題解決に取り組む

より良い経営環境を築いていただけるようオーナーさんの意見や相談など、生の声をうかがい、様々な課題やご提案への回答を行っています。また、各種取り組みや施策に関しても直接ご説明を行うなど、緊密でいねいなコミュニケーションの活性化を図っています。

重点課題⑥ 加盟店への支援制度



## 密着取材 人材育成

従業員さんに安心して長く働いていただけるよう  
何事もきちんと話し合います。

かわいい  
インタビューは  
こちらから!



「人材教育は面接の時から始まっている」という遠藤オーナーに、働きやすいお店づくりのための取り組みについてうかがいました。

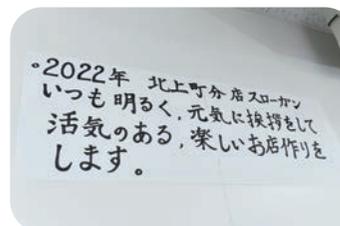


北上里分店 オーナー 遠藤竜司さん

今こそ従業員さんの定着率の高さは自慢ですが、お店をはじめた当初は問題だらけでした。まず痛感したのが、お互いが納得するまで対話をしなければならぬということ。長く働いてもらうためには、「お互いの話をきちんと聞く」姿勢が重要です。一人ひとりが「なぜそうするのか」を納得することで、働く理由

ややりがいが見つかり、感謝や学びの気持ちが生まれる。すると自分で問題解決もできるようになります。就業規則は随時読み合わせをして意識を共有。本冊子『サステナビリティアクションブック』も全員で共有し、社会的意義を理解した上で誇りをもって働けるよう取り組んでいます。

#### 全員参加のスローガンづくり



年末に全員で1年間のスローガンを作成し、新年を迎えます。また、就業規則は誰もがいつでも手に取れる場所に置いてあります。

#### 『サステナビリティアクションブック』で情報共有



中学生の体験学習や地域の集まりでもこの冊子を活用しています。(写真は2021年度版)



# お取引先とともに

サステナビリティの取り組みを推進するにはお取引先の協力も不可欠です。お取引先の働きやすい職場づくりも全力でサポートしています。



## 安全・安心な野菜工場

LEDの光でレタスを栽培  
天候に左右されずに安定供給



お取引先のプライムデリカ(株)では、セブン・イレブン用のリーフレタスを安定供給するため、種まきから収穫まで自動で行う野菜工場を運営されています。無農薬栽培で同一作付面積の収穫量は露地物の約50倍、LEDの光の活用でビタミンC含有量もアップ。併設工場ですら加工されるので安全・安心・新鮮です。

重点課題② 食の安全・安心



1日の収穫量は約350～400kgにも。

### メリット

- 屋内栽培で害虫などのリスクが低く、無農薬で栽培
- 露地栽培より約2倍のビタミンC含有量
- 収穫後、隣接の工場ですら加工。新鮮なまま出荷

均一に育つようロボットアームが自動で配置を変えて栽培。

お取引先より/

洗わずに使用できる清潔・良質なレタスのため約2割のフードロスも達成しています。

2012年より研究を重ね、2019年に誕生した野菜工場です。微生物の菌数を制御し、リーフレタスを無農薬で栽培。当社の独自技術で、種まきから収穫まで完全自動化を実現しています。今後は収穫数を増やしつつ、リーフレタス以外の栽培も視野に、付加価値の高い野菜を追求します。

■ 食品製造会社  
プライムデリカ株式会社  
野菜事業部長  
亀井大祐 様



左から順にフリルレタス、美味タス、イノベーションレッドグラス。神奈川県と東京都近郊の約760店で販売する「たんぱく質が摂れる鶏むね肉サラダ」で使用されています。

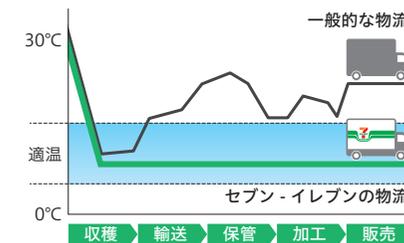


## 「コールドチェーン（低温物流網）」の構築

配送・工場・お店一丸で取り組み  
野菜を新鮮なままお客様にお届け

畑で収穫した野菜を商品にして売場に並べるまで一貫して低温で輸送・保管・加工する「コールドチェーン」。新鮮な状態でお客様の元へ届けられるため、鮮度が長く保たれ、食品ロスの削減にもつながっています。

重点課題② 食の安全・安心



## GAP認証野菜を使った商品の開発

地元農家と連携しGAP認証野菜の商品づくり

2022年春、GAP認証\*を受けた地場野菜を使ったサラダなど、3商品を福島県内限定で販売しました。福島県の「ふくしま。GAPチャレンジ」と連携したもので、GAP認証野菜を使った商品を販売することで生産者の方の安全・安心の取り組みを伝えることができ、結果として地域経済の活性化につながります。

重点課題⑦ 持続可能な調達



\*GAP認証は持続可能な農業の取り組みを行う生産者に対し、第三者機関の審査により与えられる公的な認証の一つ



## 公正な取引の徹底

通報窓口やアンケートを通じ、公正な関係を維持

セブン&アイグループでは、お取引先が利用できる専用の通報窓口を設けています。外部機関を通じて寄せられた疑問やご意見については、迅速に改善を図っています。また、お取引先からセブン・イレブン・ジャパンの社員に対し評価をいただくアンケートも実施し、良好で公正な関係の維持・構築に努めています。

重点課題⑦ 公正な取引の徹底



## 国内のお取引先へ「CSR監査」を実施

持続可能なサプライチェーンの構築

国内外のお取引先に対しては、セブン&アイグループが掲げている「お取引先サステナブル行動指針」へのご理解とご協力をお願いしています。この指針に基づき、お取引先の工場において、CSR監査を2016年より実施しています。お取引先とともに持続可能なサプライチェーンの構築に取り組んでいます。

重点課題⑦ 公正な取引の徹底

2021年度の  
CSR監査実施数

44社48工場

お客様・地域・従業員さんを守るため

# 「備える」私たちの防災・減災対策

コンビニエンスストアはお客様の日々の暮らしを支える生活インフラでもあります。もしもの際に地域社会のお役に立てるような様々な側面から「備え」を強固にしています。



## 備える 1 「セブンVIEW」

災害対策システム

「セブンVIEW」は災害発生時にお店の被害状況などを、リアルタイムで把握できる独自システム。スマートフォンやタブレット用アプリも開発し、お店が被災状況や従業員さんの安否などを入力すると、即座に「セブンVIEW」のマップ上に反映され、情報共有ができます。本部ではお店の状況を考慮し配送網などを調整。有事の際にお店を守り、迅速に対応できるように備えています。



約2万1,000店の停電状況、輸送車両約7,000台の状況を地図上に表示。

2021年2月、直接お店より情報を報告できる専用アプリを開発。

## 活用事例

2022年7月28日～8月4日 山形県大雨特別警報

河川氾濫による浸水の危険を察知し  
当該のお店に迅速に情報提供し安全確保

最上川水系の氾濫危険地域ハザードマップを合わせて、Googleマップ上に表示された最上川水系周辺のお店や、物流の状況をリアルタイムで把握。どのお店でどのような対策をすればいいか、予測や事後対策も含めて本部で素早く判断し、当該のお店に連絡・対応を要請しました。



### システムの特徴

- 被災地の様々な情報を地図に反映
- 本部とお店がリアルタイムで現状把握
- 初動対応がよりの確に
- 関連アプリと連携

## 非常時にお店をサポートするべくリアルタイムで情報を見える化

### Topic

有事を想定した  
訓練を定期的実施



専用アプリを活用し、隔月で全国のお店を対象に防災訓練を実施しています。災害時の行動シミュレーションを繰り返すことで、迅速な状況把握、早期復旧に寄ることができるよう体制強化を図っています。

## 備える 2 お店の感染症対策

小さな工夫を積み重ねて  
従業員さんもお客様もお守りする

2020年2月に「新型コロナウイルス対策本部」を立ち上げて以降、安全・安心なお店づくりのための対策を行っています。消毒液の設置やレジ前のビニールカーテンなどに加え、音声やポスターなどでご案内を実施し、お客様と従業員さんを守る取り組みを重ねています。



レジカウンターにリサイクル素材を使用した飛沫飛散防止用間仕切りを設置。

### 主な取り組み

- 消毒スタンドの設置
- 間仕切りシートの設置
- レジ待ち間隔の確保シール
- レジ画面でのご案内
- 揚げ物など商品提供時の衛生管理の徹底



消毒スタンドの設置のほか、店内の音声案内、レジ画面、ポスターで感染防止へのご理解とご協力をお願いしています。

## 備える 3 有事における被災地支援 義援金募金と物資支援

お店ではレジ横に募金箱を設置しています。通常、お客様からお預かりした募金は（一財）セブン・イレブン記念財団（詳細はP24へ）を通じて、環境市民団体支援や自然環境保護・保全などに活用されています。大規模災害の際にはセブン・イレブンが主体となり、災害復興支援などの募金に切り替え、お客様から寄せられた募金を被災地にお届けしています。並行して物資支援を行うなど、被災地支援に取り組んでいます。

義援金募金額  
2021年度 **4,862万1,363円**

### 物資支援の一例

- 2022年8月 新潟県村上市  
天然水2リットル13,872本(2,312ケース)
- 2021年8月 広島県安芸高田市  
おにぎり2,750食、ペットボトル飲料600ml 2,016本、カップラーメン504個、カップスープ類516個、パン1,250食
- 2021年2月 栃木県足利市  
ペットボトル飲料1,560本、菓子120個、カップラーメン240個、パン200個

## 有事の際には義援金を募り被災地に物資支援を実施

海外のセブン・イレブンでも募金活動を行っています！



東日本大震災時、海外のセブン・イレブンでの呼びかけ。



# GREEN CHALLENGE 2050

私たちの挑戦で、未来を変えよう。

持続可能な社会の実現を目指し  
4つのテーマで取り組みを推進

セブン&アイグループでは2019年に環境宣言を策定し、4つのテーマで取り組みを推進しています。豊かな地球環境を未来世代につなぐため、当社もお店運営や商品開発などあらゆる面から環境負荷低減を進めています。

グループの最新の取り組みはこちらでご紹介！



セブン&アイグループ『GREEN CHALLENGE 2050』



## 脱炭素社会 「CO<sub>2</sub>排出量削減」

お店でのLED照明の導入や太陽光発電パネルの設置、蓄電池の導入による省エネ・再生可能エネルギーなどを活用してCO<sub>2</sub>排出量を削減。CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロが最終目標です。

目標・目指す姿 /

▶ グループの店舗運営にともなうCO<sub>2</sub>排出量 (2013年度比)

2030年の目標 **50%削減** > 2050年の目指す姿 **排出量実質ゼロ**

セブン・イレブンでの主な取り組み  
⇒ 省エネ設備の導入…P24へ



## 循環経済社会 「食品ロス・食品リサイクル対策」

食品廃棄物の削減・リサイクルを推進中。「てまどり」や長鮮度化商品を開発することで廃棄を減らし、期限切れ商品は飼料や肥料などに活用されています。

目標・目指す姿 /

▶ 食品廃棄物量 (発生原単位・売上百万円あたりの発生量。2013年度比)

2030年の目標 **50%削減** > 2050年の目指す姿 **75%削減**

▶ 食品廃棄物のリサイクル率

2030年の目標 **70%** > 2050年の目指す姿 **100%**

セブン・イレブンでの主な取り組み  
⇒ エシカルプロジェクト…P27へ



## 循環経済社会 「プラスチック対策」

レジ袋やプラスチック製容器などの使用量削減、および再生に努めています。使用する場合も、バイオマスプラスチックなど環境配慮素材へ順次変更を進めています。

目標・目指す姿 /

▶ プラスチック製レジ袋の使用量 2030年の目標 **使用量ゼロ**

▶ オリジナル商品 (セブンプレミアムを含む) で使用する容器は、環境配慮型素材\*を使用

2030年の目標 **50%** > 2050年の目指す姿 **100%**

\*バイオマス・生分解性・リサイクル素材・紙など

セブン・イレブンでの主な取り組み  
⇒ ペットボトルの回収・リサイクル…P25へ



## 自然共生社会 「持続可能な調達」

安全・安心で環境にも配慮した商品を提供するため、GAP認証やMSC認証、オーガニックなど、持続可能性が担保された食品原材料の使用・取り扱いを増やしています。

目標・目指す姿 /

▶ オリジナル商品 (セブンプレミアムを含む) で使用する食品原材料は、持続可能性が担保された材料を使用

2030年の目標 **50%** > 2050年の目指す姿 **100%**

セブン・イレブンでの主な取り組み  
⇒ サステナブルな原材料の使用…P28へ



# 皆様とともに地球のために

グループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』の目標を共有し、地球とその未来に対してできることを考え、セブン・イレブンらしいやり方で皆様とともに推進していきます。



## CO<sub>2</sub>排出量削減

取り組み

1

## 省エネルギーの活躍と省エネ対策

お店ごとに「省エネルギー」を選出し一丸となって省エネを推進

電力需給の逼迫やCO<sub>2</sub>排出量の削減の観点から、お店の省エネ活動の重要度は増えています。継続的に取り組んでいる「省エネ対策重点6項目」に加え、各お店ごとに省エネに関する取り組みを推進する「省エネルギー」を選任。お店ごとに目標を設定し、達成度を全員で共有するなどして意識を高めています。

重点課題③ 店舗設備・運営における取り組み



## お店で取り組む様々な省エネ対策

お店で取り組む省エネ対策の一例をご紹介します。



### 室外機周辺に打ち水

エアコンの室外機周辺に打ち水をかけると、省エネに効果あり。水の蒸発時の気化熱で周囲の体感温度も下がるので、一石二鳥です。



### エアコンの温度設定と清掃

事務所エアコンの設定温度を1度かえるだけで節電になります。運転効率を上げるため、フィルターなども定期的に清掃しています。



### 情報や進捗をみんなで共有

ホワイトボードやPC画面などで数値や成果を全員で共有。朝礼で再度達成度を伝えるなど、目標が達成できるよう常時声をかけています。



### 冷蔵庫などの開閉を減らす

冷蔵庫に商品シールを貼り、中身をわかりやすくして冷蔵庫の開閉回数を減少。常温商品を冷凍する際は冷蔵庫で冷やしてからにするなど節電効果大。

\*対策はお店により異なります。

各店の「省エネルギー」より

ゲーム感覚で楽しく節電に取り組めるように工夫しています。

使わない時間は揚げ物の機械の電源はオフに。空調管理や清掃もこまめに実施。

数値目標クリアに向けてお店の皆を巻き込んで積極的に活動中!



毎日打ち水を行い、空調機の電力を削減。ホワイトボードと朝礼で情報共有も。

中央区月島1丁目店 田島弘貴さん

矢掛小田店 杉本康恵さん

足利赤松台入口店 木村正恵さん

野洲市三宅店 前田真悠子さん



CO<sub>2</sub>排出量削減

取り組み  
2

## 太陽光発電所からの電力調達

太陽光発電所から再生可能エネルギーを調達し  
北陸三県の約300のお店へ供給



福井県坂井市に新設された6,000 kW超の大規模な太陽光発電所。

### 「オフサイトPPA」とは?

PPA (Power Purchase Agreement) とは、企業が太陽光発電事業者などと長期・固定価格で電力供給契約を結ぶこと。発電場所と供給場所が離れている場合、オフサイトPPAと呼ばれます。

北陸電力と「オフサイトPPA」を締結し、2022年春より北陸三県の約300のお店に再生可能エネルギーを電力源として供給しています。北陸電力が所有する大規模発電施設「北電BESTテクノポート福井太陽光発電所」の電力を20年間、各店舗に供給するもの。再生可能エネルギーの長期供給・調達により、カーボンニュートラルの実現を目指していきます。

### 重点課題③

店舗設備・運営における取り組み

### メリット

- 長期の安定的な再生可能エネルギー調達が可能に
- 地域のカーボンニュートラル推進に貢献できる
- 北陸電力グループは継続的なサービス提供が可能に

取り組み  
3

## 配送方法や車両を変更し環境負荷を低減

配送回数や方法、車両なども見直して  
配送業務で発生するCO<sub>2</sub>排出量の削減に挑む

お店への商品配送回数を創業当初の1/7に減らし、CO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減。コンビニ3社との共同配送のテスト実施などにくわえて、電池や水素車両も導入し、物流の効率化と環境への負荷低減を推進しています。

重点課題③ サプライチェーンでの取り組み



取り組み  
4

## 省エネ設備の導入と実証実験

実証実験店でCO<sub>2</sub>排出量削減に挑み  
結果を踏まえて全国のお店へ展開を図る

太陽光発電パネルを設置するお店は全国8,775店\*、LED照明はほぼ全店で導入され、CO<sub>2</sub>排出量削減を推進。さらに「省エネ実証店舗」では、大容量太陽光発電パネルやCO<sub>2</sub>冷媒利用の冷凍冷蔵設備などを導入し、CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けテストを実施しており、今後全国に展開予定です。

\*とともに2022年2月末時点

重点課題③ 店舗設備・運営における取り組み



## セブン・イレブン記念財団



### 加盟店と本部が一体となって設立 環境をテーマに社会貢献に取り組む

地域の方や地元企業の参加も増え、地域をあげての取り組みに進化。

紙の原料の一部にセブンの森の間伐材を使用!

1993年設立の(一財)セブン・イレブン記念財団では、お客様からの店頭募金、当社や企業、団体や個人の寄付金をもとに、産学官民連携での自然環境保全プロジェクト「セブンの森」づくりを推進。森・里・川・海の全国17カ所の植樹や海岸清掃、アマモ場づくりなどを通し、「CO<sub>2</sub>削減」や「豊かな自然環境の再生」に取り組んでいます。

重点課題⑥ 社会貢献活動

2021年度の店頭募金額  
4億3,680万9,753円



皆様、ご協力をお願いします!  
くわしい情報はこちらから



### — 3本柱で環境保全に取り組む —

#### 環境市民活動支援

地域で環境保全やまちづくりに取り組む市民活動を積極的に支援。また、各種団体のネットワークづくりにも注力中です。

#### 自然環境保護・保全

全国17カ所の「セブンの森」づくりとともに、大分県と東京都にて自然学校を運営。各種団体・組織への募金も実施。

#### 災害復興支援

災害による甚大な被害が発生した際は店頭募金を義援金募金に変更し、被災地への寄付を行っています。

義援金募金活動は詳細をP20に掲載。

プラスチック対策

取り組み  
5

## ペットボトル回収機の設置を通したリサイクルの推進

お店でペットボトルを回収する  
お客様参加型リサイクルを展開



一部のお店にペットボトル回収機を設置し、お客様参加型のリサイクルを展開しています。回収したペットボトルは資源としてリサイクルし、再びペットボトル飲料や商品として販売しています。サーキュラーエコノミー（循環経済）の実現を目指し、お店や地域の皆様のご協力をいただきながら「ボトルtoボトル」の取り組みを進めていきます。

重点課題③ 石油由来のプラスチック削減

メリット

- ペットボトルを資源としてお預かり
- 回収資源を使用したペットボトル飲料を再び販売
- ペットボトル回収でnanacoポイントがもらえるおトクさ

回収機設置店の検索はこちら！



西日本PETボトルMRセンター  
(三重県津市)

お取引先より/

### 回収したペットボトルをペットボトルに再生させ資源として循環させる「ボトルtoボトル」を推進

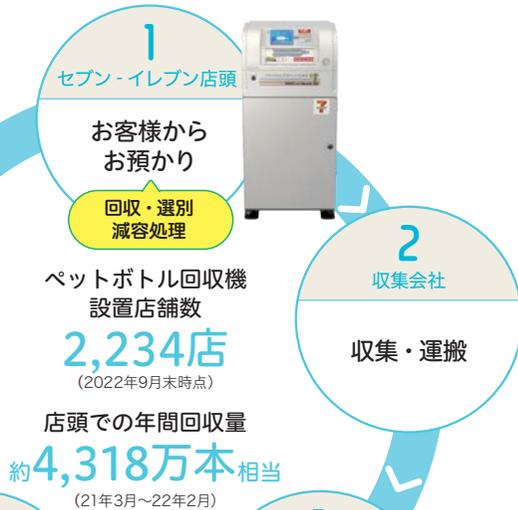
消費者の皆さんの環境問題に対する関心が高まっています。ペットボトルリサイクルは誰でも取り組みやすい活動であり、CO<sub>2</sub>排出量の削減、石油資源の利用抑制などにつながります。この水平リサイクル「ボトルtoボトル」を通じて、循環型社会の形成にともに努めてまいります。

■ ペットボトルリサイクル会社  
協栄J&T環境株式会社 代表取締役社長 古澤栄一様



4 飲料メーカー  
原料をペットボトルに再生  
商品に変身！

セブンプレミアム  
一（はじめ）緑茶一日一本  
118円（税抜）



取り組み  
6

## お店でのプラスチック削減

石油由来のプラスチック使用量を削減し  
並行してペットボトル回収機設置も推進

お店でお渡しするスプーンなどのカトラリーは従来品に加え、一部のお店では植物由来のバイオマス素材が配合された環境配慮型カトラリーを配布。商品包装のプラスチック素材の薄肉化などとあわせて、プラスチックの使用量の削減を進めています。また、有料レジ袋の販売による「本部収益相当額」をペットボトル回収機の設置費用の一部として活用しています。

重点課題③ 石油由来のプラスチック削減



取り組み  
7

## 店内販促物を環境配慮型素材に

環境負荷を減らした新素材を導入  
プラスチック使用量を約12%削減

お店の冷蔵・冷凍品に設置するプラスチック製販促物を、植物由来バイオマス素材を配合し、耐久・耐水性に優れた新素材「ユボグリーン※」に切り替えています。

※ユボグリーンは植物由来のバイオマス樹脂を配合し、従来品より石油由来のプラスチック量を削減した合成紙。耐久性や耐水性に優れる

重点課題③ 石油由来のプラスチック削減



取り組み  
8

## 環境にやさしい包装・容器に変更

商品の品質を保ち環境にやさしい工夫を

サラダカップは環境配慮型PET容器に、またチルド弁当容器やサンドイッチフィルム（一部）を紙化するなど、便利さはそのままに環境配慮型に進化しています。ポタニカルフィルムやライスインキも使用し、今後も環境にやさしい包装容器を変更してまいります。

重点課題③ 石油由来のプラスチック削減

容器にリサイクルPETや  
バイオマスPETを使用！

森林の多様性を守る  
FSC認証紙を使用！



### ポイ捨てをしないことが海を守ることに繋がる

海の生態系に影響をおよぼすことが問題になっている、海洋プラスチック。その約8割が陸（街）から川を伝って海に流れ出したものとされています。そこでセブン・イレブン・ジャパンでは日本財団と環境省の共同事業である「海ごみゼロウィーク」の清掃活動に参加し、市街地でごみ拾いを行っています。





食品ロス・食品リサイクル対策



持続可能な調達

取り組み  
9

## てまえどりの推進

すぐに食べる時は、手前の商品を選んでいただくことで食品ロス削減につながる取り組み

2021年6月より、各省庁やコンビニエンスストア各社とともに「てまえどり」を推進しています。「てまえどり」とはすぐに召し上がる予定の場合、手前に置いてある商品から選んでご購入いただくことで、食品ロス削減につながる取り組みです。一部地域では自治体と協力し、オリジナルPOPの設置等でお客へご協力を呼びかけています。

重点課題③ 食品ロスの低減・廃棄物の減量化

「ご協力よろしくお願いします。」



地域ごとに工夫を凝らして推進する「てまえどり」

### 愛知県での取り組み 「あいち食ロス月間」

豊田市との「共働によるまちづくりパートナーシップ協定」に基づき、出張授業（詳細はP12⇒）を実施した豊田市立前林中学校の1年生の生徒さんが「てまえどり」のPOPを作成。豊田市内すべてのお店の売場に掲示する取り組みを行いました。



生徒さんから232作品が寄せられ、10作品が店内に貼り出されました。お客様からも「親しみやすい」と好評を博しました。

取り組み  
10

## エシカルプロジェクト

緑のシールは環境配慮とおトクの目印  
食品ロス問題を意識していただくきっかけに

お店ではお弁当やパンなど、対象商品の販売期限が近づくとき緑色のシールを貼ります。このシールが貼られた商品を電子マネーnanacoで購入したお客様にポイントを付与する、「エシカルプロジェクト」を推進しており、食品ロスの削減に協力しながらnanacoポイントももらえると、お客様から評価をいただいています。

重点課題③ 食品ロスの低減・廃棄物の減量化

nanacoポイントがもらえます！



取り組み  
11

## 独自の技術と工夫で食品ロス対策

新鮮さを長く保てる長鮮度商品を増やすとともに  
少人数でも食べられるサイズの商品を拡充

窒素の充填など、独自技術を使った長鮮度商品の品揃えの充実に加え、少人数で食べられるセブンプレミアム商品などの品揃えも拡大中。無駄が出にくいカット野菜や長期保存可能な冷凍食品なども拡充し、食品ロス削減の取り組みを続けています。

重点課題③ 食品ロスの低減・廃棄物の減量化



取り組み  
12

## 食品リサイクル

販売期限が切れた食品を再利用  
地域と進める循環型の食品リサイクル

一部エリアでは、お店で発生してしまった販売期限を過ぎた食品を回収。また、店内調理で使用した油を回収し、食品リサイクル工場で飼料、肥料、液肥などにリサイクルし、再利用しています。

重点課題③ 食品ロスの低減・廃棄物の減量化



取り組み  
13

## サステナブルな 原材料の使用

人権や地球環境に配慮した  
持続可能な商品調達

持続可能な調達に向け、原材料もフェアトレード認証のカカオ原料を使った商品や、「海のエコラベル」MSC認証を受けた商品など、サステナブルな原材料を使った商品を販売しています。今後もさらに拡大予定です。

重点課題③ 食品ロスの低減・廃棄物の減量化



MSC認証とは？

「海洋管理協議会（MSC）」による認証制度。適切に管理されている漁業で獲られた天然の水産物に与えられます。

無駄なく使いきる！食品ロスを考慮した「賢者のレシピ」

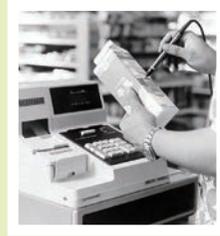
食べ物に感謝の気持ちを込めて、たいせつに手軽に楽しくいただく賢者のレシピ。食材を育てる人・調理する人・食べる人みんなをHAPPYにしてくれます。



# 歴史と数字で知る セブン-イレブン

～「近くて便利」を追求した半世紀～

2023年でセブン-イレブン・ジャパンは創業50周年を迎えます。創業以来、お客様ニーズに合わせて多様な商品やサービスを提供してきました。お客様の「近くて便利」を追求した、私たちの50年をご紹介します。



販売データを検証するためPOS（販売時点情報管理）レジシステムを導入。

**1982**  
POS（販売時点情報管理）システムの導入

**1973**  
「(株)ヨークセブン」設立  
(1978年に「(株)セブン-イレブン・ジャパン」に改称)

**1980**

**1974**  
東京・豊洲に1号店オープン



日本初の本格的コンビニエンスストア「セブン-イレブン豊洲店」開店。

**1987**  
公共料金収納代行サービス開始

**2000**

**2001**  
「(株)アイワイバンク銀行」のATM設置開始  
(現: (株)セブン銀行)



お客様に便利に使っていただくため、グループ企業のATMを店内に設置。

**1993**  
「セブン-イレブンみどりの基金」設立  
(現: (一財)セブン-イレブン記念財団)



加盟店と本部共同で環境をテーマに社会貢献活動を目的に設立。



商品を詰め込んだ車両が、地域のお客様のもとにうかがう移動販売を開始。

**2011**  
「セブンあんしんお届け便」スタート

詳細はP8へ

**2010**

**2010**  
マルチコピー機による「住民票の写し」「印鑑証明書」発行の行政サービス開始

**2019**  
グループの環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』策定

詳細はP21へ

**2007**  
電子マネー「nanaco」導入

**2007**  
「セブンプレミアム」販売開始



セブン&アイグループ共通のPBブランド開始。当初の商品数は49品。



## 数字で見るセブン-イレブン

### 接客サービス向上への取り組み

- ・加盟店従業員向け接客研修  
..... 実施10,914回/参加者39,740人
- ・新人研修(ゆっくり基本コースシニア向け)  
..... 参加者約145人
- ・外国籍従業員おもてなし接客研修... 参加者約280人  
※すべて2021年度

### ノーマライゼーションの取り組み

- ・障がい者雇用比率 ※2022年2月末時点 ..... 2.34%
- ・障がい者職業生活相談員 ※2022年2月末時点 ..... 96人
- ・ジョブコーチ(企業在籍型職場適応援助者)  
※2022年9月末時点 ..... 19人

### 食品ロス削減の取り組み

- ・食品リサイクル率 ※2021年度 ..... 50.3%  
※販売期限切れ商品と廃食用油などの飼料化・たい肥化として
- ・24時間以上販売できるオリジナルデイリー商品  
※2022年4月末時点 ..... 84%

### お店のサステナビリティ

- ・太陽光発電パネル設置 ※2022年2月末時点 ..... 8,775店
- ・ペットボトル回収機設置 ※2022年9月末時点 ..... 2,234店
- ・自転車シェアリング ※2022年2月末時点 ..... 562店 3,575台

### 国内店舗数

- ・国内47都道府県 ※2022年2月末時点 ..... 21,327店

### チェーン全店の売上 (2022年2月期、国内のみ)

- ・売上総額 ..... 4兆9,527億82百万円

### 1店舗あたり (2022年2月期、国内のみ)

- ・平均日販 ..... 64万6千円
- ・1日平均客数 ..... 899人
- ・平均客単価 ..... 719円

※冊子内で使用した写真は、安全に配慮したうえで撮影時のみマスクを外しています。